

交差点 103号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会
令和5年7月

自転車に 乗るなら必ず ヘルメット

内閣総理大臣賞 一般部門 B

登下校 なれた道でも 気をつけよう

警察庁長官賞 こども部門

「令和5年使用交通安全年間スローガン」(全日本交通安全協会・毎日新聞社)より



夏の交通安全について保護者の皆様へ

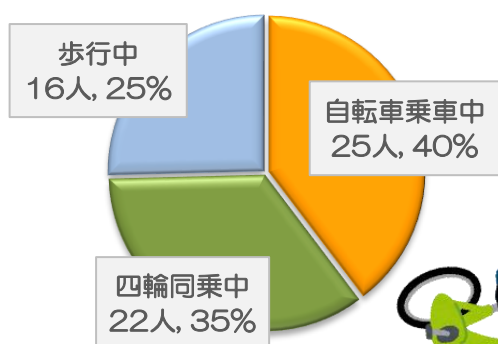
子どもたちも心待ちにしている夏休みがもうすぐやってきます。
屋外での活動が多くなるこの季節は、例年、子どもたちを巻き込んだ交通事故が多く発生する時期でもあります。
昨年1年間の、札幌市内における中学生以下の交通事故による負傷者数は184人で、そのうち7月～9月の間で63人と、夏季に多くの交通事故が起きています。
悲惨な交通事故に遭うことなく、楽しい夏休みを過ごすため、ご家族で交通安全について話し合うなど、子どもたちの交通安全意識を高めていただきますようお願いいたします。

令和4年の札幌市内における中学生以下の交通事故実態

死者数	1年間(1月～12月)	1人(前年比: +1人)
	7月～9月	0人(前年比: ±0人)
負傷者数	1年間(1月～12月)	184人(前年比: -29人)
	7月～9月	63人(前年比: -11人)

中学生以下の子どもの状態別負傷者数(令和4年7月～9月)

※グラフ中の%は小数点以下を四捨五入しています。



夏の交通事故を状態別で見ると、自転車乗車中の負傷者数が25人と、全体の約4割を占めました。自転車事故を防ぐため、自転車利用のルール・マナーを守る、ながらスマホをしない、道路を渡るときはドライバーと視線を合わせるなど、しっかりと安全確認を行いましょう。

夏休み中は、自動車に乗ってお出かけする機会も増える季節となりますが、事故から身を守るため、シートベルトの全席着用を徹底しましょう。



夏の交通安全指導のポイント



車道や車道のすぐそばで遊ばせないようにしましょう。

(飛び出しによる事故の危険があります！)



安全な道路の横断の仕方について指導し、必ず横断歩道のあるところを渡らせましょう。

(信号の有無にかかわらず、必ず周囲の安全を確かめてから横断させるようにしましょう！)



自転車乗用時には必ずヘルメットを着用させ、安全な乗り方について指導しましょう。



道路を渡るときの4つのやくそく

道路をわたるまえに



車がこないか



車の音を



車がとおりすぎるまで



*** 自転車による事故を防ぐために ***

自転車は子どもから高齢者まで手軽に利用されている身近な乗り物です。一方で、これからの季節は自転車の利用機会増加にともなう事故の発生が懸念されます。利用者ひとりひとりが、日頃からルールやマナーを守って、安全に自転車を利用しましょう。



自転車安全利用五則

- 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
(例外) 13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者は歩道通行可
- 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 夜間はライトを点灯
- 飲酒運転は禁止
- ヘルメットを着用



札幌市交通安全運動推進委員会では Twitter で交通安全情報を発信しています。ぜひフォローをお願いいたします。

